

会 報
第32号

津市議会議員

田中かつひろ通信

田中かつひろ後援会

津市南が丘 4 丁目 24-13

TEL .222-1155

FAX .222-1156

E-mail; katsuhito-t@re.commufa.jp

前葉市長の施政方針を重点に問う



平成 25 年度第 1 回津市議会定例会におきまして、私は、「一津会」会派代表質問をしました。津市の将来展望についてのビジョンを問い、とりわけ、防災対策の取り組みについての重点課題、行財政改革についての業務の簡素化、効率化の成果を質しました。また、「対話する市政」「前進する市政」「決断する市政」について、市長のトップマネジメントとリーダーシップをどのように発揮していくのかを聞き、総額 1059 億 8 千万円の予算案などを審議しました。「総合支所のワンストップ化」では、文書管理や行政事務の業務改善。経理事務のアウトソーシングを進めるとともに、IT 技術の利活用を全庁的に進めていくように提言しました。

教育方針から小中一貫教育を問う

この問題は、連携ではなく一貫というところに、学力の向上と地域連携があると解釈します。複式学級を解消し、学校のあるべき適正規模と、例えば、4・3・2制のカリキュラムを取り入れることを含めての質問をしました。学校が変われば地域が変わる。より良い教育環境を提言していきます。

南が丘学園都市構想に一步前進

来年度の施政方針に「老朽化したプレハブ校舎への対応に鋭意取り組んでいく」と明記され、教育方針にも「プレハブ校舎について、子どもたちの快適な学習環境を確保するため、地域教育委員会等の地元学校関係者と協働して、学校施設の在り方について検討し校舎の増改築など計画的な事業に取り組みます」と記載されました。

25 年度に協議し、26 年度に設計、27 年度に着工と思います。1 年かけて協議する内容は、新しいタイプの学校として「生涯学習機能」「コミュニティ機能」「避難所としての機能」等、の併設。建屋の大きさ、場所、について考えなければなりません。

子どもたちが望む学校を基本に、地域の方々の協力を得て、他の学校にはない、南が丘独自の教育施設を造り、そのことが、将来のまちづくりに寄与できるように、しっかりと進めていきたいと思ひます。



私は、4 期 13 年の議員経験をベースに、みなさんと行政の掛け橋となって、みなさんと一緒に「協働型社会」の仕組みを作って行くことを理念に、「津市マスタープラン」のローリングを念頭にし、本会議や各委員会などを通して行動して参ります。また、行財政改革にも積極的に取り組んでいきます。

平成25年3月議会の質問要旨(抜粋)

1. 今後の防災対策の取り組み

津市民の命と財産を守るための施策として、津波避難ビルの確保や大規模災害発生時の協力協定として101の団体と24の協定を締結、或いは、市内の各自主防災会への支援など様々な取り組みをしてきたが、積み残した課題は何か。今後2年間の市政運営に臨む具体策は、何かを質しました。



避難所での訓練のようす

2. 救急医療体制について

救急医療体制の確保は、市民が強く要望する事柄であり、重要な政策課題として位置付けられています。救急医療体制の個別課題として、

① 小児②眼科や耳鼻科など特定の医療③多数の患者が同時に発生した際の対応④病院前救護等、課題は山積しています。救急医療は、医の原点と考え、良質かつ効率的な救急医療体制のあり方を質問しました。



市民防災訓練でのひとコマ

3. 審査会や委員会などの委員の選出根拠は何か

津市には、審議会や委員会の名称で各種の諮問機関が設置されており、「有識者」といわれる方々がメンバーを構成しています。私が、地域の抱える諸問題(日照権や景観阻害、通学路の危険性等)を解決するための話し合に参加した経験から感じたことは、決定的と言える局面で市が設置している各種の諮問機関の長引く審議が、住民の要望解決を遅らせている実態です。このことから、公募委員等を入れてはどうかを質問しました



大里の小児救急病院の視察

4. レセプト電子化の現状と医療費抑制の取り組みは

三重県の医療費は、約4971億円、1人当たり約268,000円。津市の国保の医療費は、約225億円、1人当たり約319,000円となっています。医療技術の進歩や高齢化等により、今後、医療費が伸び続けて行くと思込まれる中、医療費の伸びの構造的な要因に着目し、必要な医療を確保し、なお、効率化を図ることが重要です。レセプト電子化は、医療費の適正化と被保険者の健康保持、或いは、負担軽減に寄与するものです。このことにつき、津市の取り組みも現状を質問しました。

春が巡って来ました

<市内在住の会員からのご意見>

- * 全国的に暖かな気温が続き、例年に比べ半月ほど早く桜が開花しました。
- * 春3月は、子供達の巣立ちの季節です。晴れがましく、少し緊張した面影で、多くの子供達が、小中学校の学び屋を巣立って行ったことでしょう。
- * ♪*揚げば尊し、わが師の恩*♪～、と歌った少年の日を思い浮かべながら、この子供達が、後5年～8年もすれば、郷土津市を背負って行ってくれるであろうと、改めて期待に胸を膨らませています。
- * 津市は、かつて「学術文化都市」と呼ばれた時代があったと聞いています。先生方が、生徒や保護者から尊敬の眼差しで仰ぎ見られる世が再来するよう、津市の教育に携わる方々の奮起を期待します。
- * 3月議会が終了し、新年度がやって来ました。近い将来、地域を担う子供達に、住みよい津市を引き継いで行くためにも市議会の実りある議論と行政の具現化が切望されるところです。